

静岡県月例経済報告

(令和6年6月号)

……令和6年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 578



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	6
・需要面	6
・生産面	14
・雇用面	16
・その他	19
III 静岡県主要産業の動向	23
IV データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和6年4月を中心とした静岡県の景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需 要 面

「個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる」

大型小売店販売額(4月)は、百貨店が7か月連続、スーパーが3か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(4月)は、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが36か月連続、ホームセンターが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも28か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、乗用車が5か月連続、軽自動車が6か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも5か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(4月)は、持家が3か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が3か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(4月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(3月調査)の令和6年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(4月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(4月)は、原動機が7か月連続、エアコンが11か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車、二輪自動車類がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品が10か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(4月)は、パルプが2か月ぶり、紙類及び同製品が3か月ぶり、原動機が5か月連続、自動車の部分品が13か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、木材がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,044億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きとなっている」

鉱工業生産指数(4月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械が5か月連続、食料品・たばこが11か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は2か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では3か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる」

有効求人倍率(4月)は1.15倍となり、前月を0.03ポイント下回った。全国値を0.11ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(4月)は、13か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(3月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(4月)は、前年同月比 1.1%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(4月)は、前年同月比 5.6%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産(5月)は、件数は22件(前年同月比 29.4%増)、負債総額は10,415百万円(同 200.1%増)と、いずれも前年実績を上回った。



静岡銀行

スタートアップ企業 **120**社超 出展

TECH BEAT Shizuoka 2024

Start up Your **START!**

静岡に共創の明日を咲かせよう。

7.25 10:00-17:00 木 26 10:00-17:00 金 27 10:00-17:00 土

会場 | **グランシップ** 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1 (JR東静岡駅南口徒歩3分)

今年は次世代の「遊び・学び」を体験できる子ども向けアトラクションも

参加無料
事前登録制



スタートアップとの出会いが、静岡の明日をもっと熱くする。

テクノロジーの先端を走るスタートアップ企業が一同にグランシップに集結。先進技術やビジネスソリューションの数々がリアル体験できる、刺激に満ちた3日間です。スタートアップとの商談会に合わせ、日本を代表する経営者、学識経験者、ジャーナリストによる講演や各種セッションも多数オーガナイズ。また6F「ジュニア・コンテンツ会場」では、AIやARによる子ども向け体験型アトラクションや学生による研究展示などを展開。さらにスポーツの成長産業化に取り組むプロスポーツチームによる出展も。静岡がリードするオープンイノベーションの鼓動を、このチャンスにぜひご体感ください。

// 基調講演&トークセッション講師陣 //

7.25 木



入山 章栄 氏
早稲田大学大学院
経営管理研究科 教授



伊佐元 元 氏
WIL 共同創業者 CEO



濱渦 伸次 氏
NOT A HOTEL
株式会社
代表取締役 CEO



宮田 裕章 氏
慶應義塾大学医学部
教授



谷本 有香 氏
Forbes JAPAN
Web編集長



正頭 英和 氏
立命館小学校教諭
学校法人立命館
起業事業化推進室
教育プロデューサー



河田 亮一 氏
加和太建設株式会社
代表取締役



木内 藤文 氏
木内建設株式会社
代表取締役社長



須山 雄造 氏
須山建設株式会社
代表取締役社長



間野 義之 氏
びわこ成蹊
スポーツ大学 学長



山谷 拓志 氏
静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長



明石 ガクト 氏
ワンメディア株式会社
代表取締役CEO

3-6F

ジュニア・コンテンツ会場

デジタルイノベーションで
広がる新しい学びのカたち

LiPLA 「桃鉄」教育版



AR、画像解析などの最新テクノロジーで
創出する未来の学び場「リトルプラネット」や、
大人気「桃太郎電鉄」に学習機能を加えた
「教育版」のデモなどがファミリーで体験
できます。

<トピックス>

静岡県・清水港に、海洋先端技術が一堂に集結。

ブルーエコノミー国際会議・海洋関連産業展示イベント



BLUE ECONOMY EXPO

@Suruga Bay

2024
7/17 WED 18 THU

会場
静岡県・清水港
日の出地区

入場無料
事前登録制



特設HP・
事前登録は
こちら

海洋関連の有識者・企業・アカデミアらが
国内外から集結し、駿河湾から、「海」に関する
先進の技術や情報を発信します

清水マリンビル

海の未来会議

@駿河湾

- 海洋をテーマとする基調講演
- 国内外のブルーエコノミーへの取り組み・事例紹介

事前登録制

清水マリンターミナル

海のEXPO

@駿河湾

- 企業・アカデミア等による展示・プレゼンテーション・成果物体験
- 出展団体との商談・マッチング機会の提供 等

事前登録制

清水マリンターミナル

ローカルエリア ネットワーク会議

- 海洋をターゲットとした産業振興に取り組む自治体等の事例紹介

日の出地区内各所

同時開催 イベント

- 国内外の水中ドローン等が集結!
[Ocean Biz 2024]
- お子様にも人気の「おさかなトラック」
移動水族館
[SDGsアクアリウム]

参加自由



〈主催〉一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
〈共催〉静岡県、静岡市、静岡商工会議所(新産業開発振興機構・海のみらい静岡友の会)、東京工業大学 超スマート社会推進コンソーシアム、デロイトトーマツコンサルティング合同会社
〈協賛〉ORNIS株式会社、沖電気工業株式会社
〈お問い合わせ先〉BLUE ECONOMY EXPO @ Suruga Bay 運営事務局 ✉ info@blue-economy-expo.jp
〈公式サイト〉 <https://blue-economy-expo.jp>

<トピックス>

浜名湖 キューバ ヘミングウェイカップ

HAMANAKO-CUBA HEMINGWAY CUP 2024 HAMAMATSU ✕ KOSAI



2024

7.20 SAT → 21 SUN

静岡県西部の観光、漁業、マリンレジャーの中心である「海の湖」浜名湖を舞台に「浜名湖キューバ ヘミングウェイカップ」開催！
カジキスポーツフィッシングのほか、浜名湖の自然の恵み、音楽、食の豊かさ、キューバ文化の理解など楽しみながら体験しよう！



浜名湖の魅力を知ろう！浜名湖を楽しもう！

浜名港会場 10:00～15:00
(湖西市新居町新居3448付近)

浜名湖ミナトリング2024同時開催

スポーツフィッシング、ステージ、親子釣り教室、
カジキグルメ、各種ブース など



ステージ 下記以外にも楽しいステージをご用意！

7.20 SAT

Jam9 ほか

SBSラジオ公開生放送
「それいけ! 曖昧moco」
パーソナリティー
にむらあつと、スミス春子ユニス



Jam9



ラブレターズ

7.21 SUN

ラブレターズ

お笑いライブ&トークショー ほか

※浜名湖ミナトリングとは、マリンレジャーや船の魅力を中心にポート試乗体験、はたらく船の船内見学、その他海や地域の学習展示や地域グルメ等、浜名湖の魅力を満たしたイベントです。



キューバの文化・魅力を知ろう！

渚園会場 10:00～16:00
(浜松市中央区舞阪町弁天島5005-1)

ステージ(キューバ音楽、80年代洋楽、サルサダンス等)、キッチンカーグルメ、
クラシックカー展示、浜名湖グルメ販売、各種ブース、ヒラメ稚魚の放流 など



※車両はイメージです

ステージ

7.20 SAT 7.21 SUN

みんなが知っている
キューバ音楽や洋楽で
楽しく踊ろう！

出演者
< Hamamatsu Latin Jazz Ensemble + Lyn
< MiKi MARIE - GoodVibes BAND
< DJ Motomitsu, SALSA FUEGO Hamamatsu & DJ AKI,
< NOA&moko, Dance Station Mashu Kids Dancers



Hamamatsu Latin Jazz Ensemble



MIKi MARIE

協賛社 | イングロ、INFLUX、遠州信用金庫、遠鉄グループ、オイスカ浜松国際高等学校、静岡県信用保証協会、
(五十音順) | スズキ、浜松いわた信用金庫、ポートレース浜名湖 ほか

主催：浜名湖キューバ ヘミングウェイカップ実行委員会

事務局：静岡新聞社・静岡放送 浜松総局

お問い合わせ：053-455-4100(土日祝を除く9:00～17:00)

浜名湖キューバ ヘミングウェイカップ

検索

※イベント内容が予告なく変更となる場合がございます。

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 36,018百万円

*前年同月比： 1.3%減

(県内3百貨店、160スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は36,018百万円で、前年同月比1.3%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比5.3%減）が7か月連続、スーパー（同0.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同6.1%減）が5か月連続、身の回り品（同18.4%減）が8か月連続、飲食料品（同0.2%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家庭用品（同1.1%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.1%増と、4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	35,452	37,583	37,605	46,496	38,659	34,996	38,742	36,018
前年同月比(%)	0.3	▲0.2	0.9	▲2.3	▲0.8	1.8	3.6	▲1.3
うち百貨店(%)	0.2	▲7.0	▲2.4	▲3.4	▲3.1	▲2.7	▲1.4	▲5.3
スーパー(%)	0.3	1.1	1.6	▲2.1	▲0.3	2.6	4.6	▲0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	4.5	3.7	4.4	2.5	3.3	7.2	6.4	2.7
うち百貨店(%)	9.4	6.3	7.7	5.8	7.8	13.7	9.8	8.5
スーパー(%)	2.8	2.8	3.1	1.1	1.7	4.9	5.1	0.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.5	2.2	3.4	▲0.2	1.8	4.3	6.2	1.1

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲3.7	▲3.7	3.1	▲7.4	▲2.3	▲1.6	▲4.1	▲6.1
うち紳士服・洋品	▲0.5	2.7	13.2	▲10.2	▲4.8	0.0	▲5.6	▲3.2
婦人・子供服・洋品	▲3.5	▲5.1	▲0.3	▲5.6	▲0.4	▲1.6	▲3.3	▲6.6
身の回り品	▲6.2	▲18.3	▲11.9	▲21.0	▲20.6	▲17.0	▲1.8	▲18.4
飲食料品	0.5	0.8	0.6	▲1.0	0.3	2.7	4.6	▲0.2
家庭用品	▲5.2	▲5.0	▲3.5	▲5.2	▲3.4	▲0.3	10.5	1.1
うち家庭用電気機械器具	▲6.0	▲8.5	7.0	▲3.0	▲5.7	1.6	7.7	3.6

(注) 店舗数調整済、全月速報値

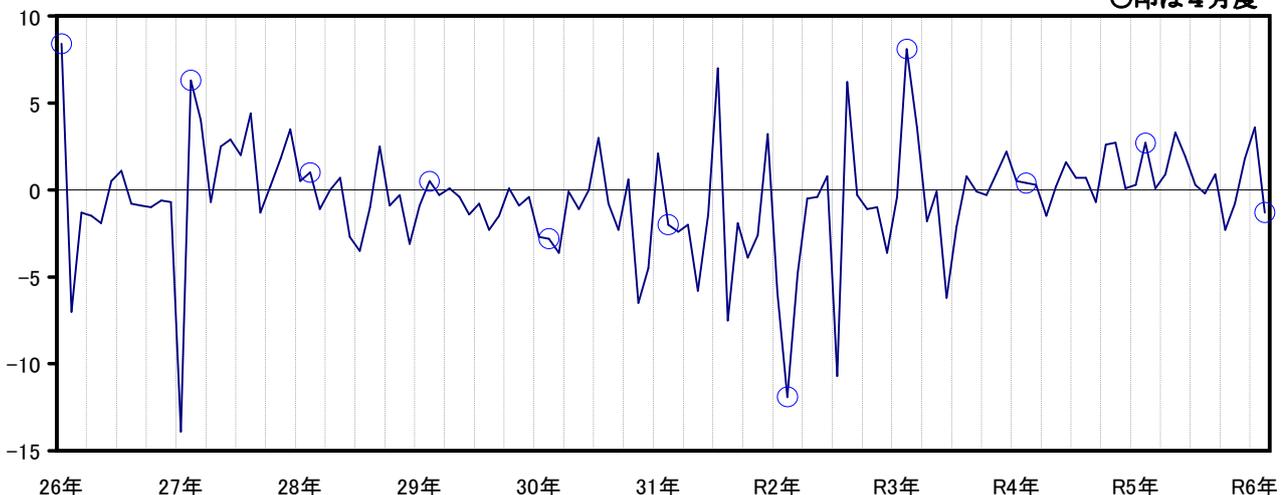
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(2) 専門量販店等販売額

4月 = 75,755百万円

*前年同月比：0.8%増

(県内93家電大型専門店、1,655コンビニエンスストア、612ドラッグストア、110ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は75,755百万円で、前年同月比0.8%増となり、28か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比2.6%減）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同0.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同3.3%増）が36か月連続、ホームセンター（同0.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
販売額（百万円）	76,136	77,087	74,993	86,114	74,586	70,910	80,428	75,755
前年同月比（%）	2.9	2.5	3.2	0.1	0.3	3.9	3.4	0.8
うち 家電大型専門店（%）	▲3.4	▲10.2	▲1.7	▲8.7	▲10.3	▲7.4	4.0	▲2.6
コンビニエンスストア（%）	0.6	0.7	0.6	▲0.3	▲0.1	3.6	▲0.5	▲0.7
ドラッグストア（%）	9.0	10.0	6.7	5.6	4.6	8.7	6.7	3.3
ホームセンター（%）	▲2.2	▲3.2	5.8	▲5.0	▲1.0	▲0.6	4.1	0.4
(参考)全国前年同月比（%）	4.5	3.2	3.4	2.4	1.6	5.6	4.1	2.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

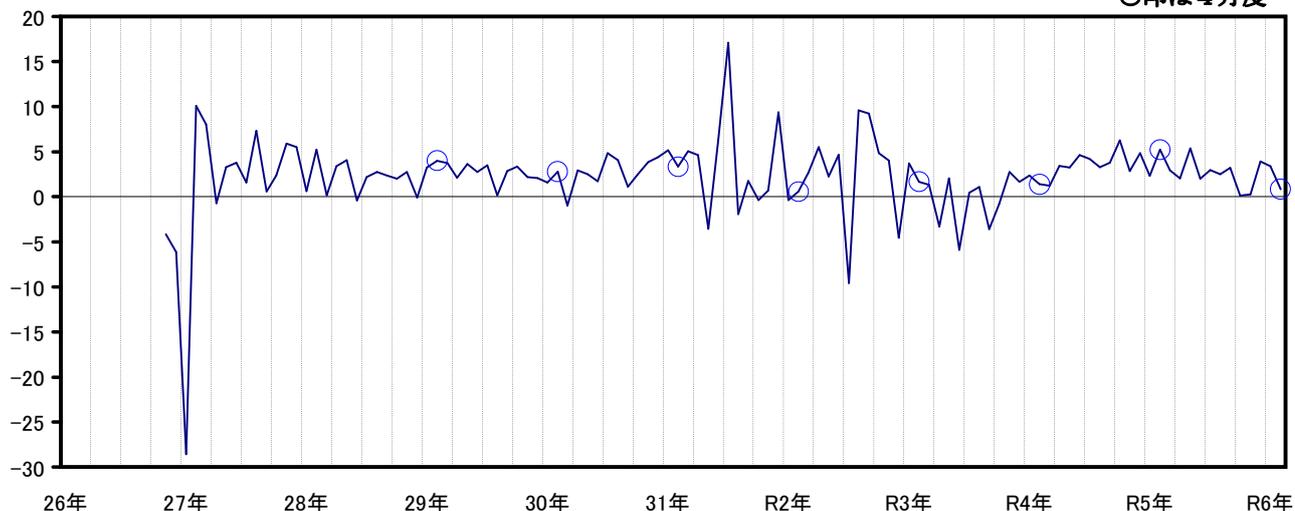
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**4月 = 10,544 台**

*前年同月比： 11.5%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は10,544台で、5か月連続で前年実績を下回った。
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 1.5%減)が5か月連続、軽自動車(同 22.5%減)が
 6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	14,721	13,569	14,028	12,336	12,364	12,779	15,695	10,544
前年同月比(%)	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9	▲11.5
(参考)全国前年同月比(%)	11.8	13.1	11.7	6.1	▲10.8	▲16.2	▲19.6	▲10.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
全乗用車	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9	▲11.5
乗用車	10.6	4.2	7.2	▲3.2	▲5.4	▲13.6	▲16.2	▲1.5
軽自動車	12.9	4.8	▲6.9	▲13.5	▲21.6	▲25.6	▲26.5	▲22.5

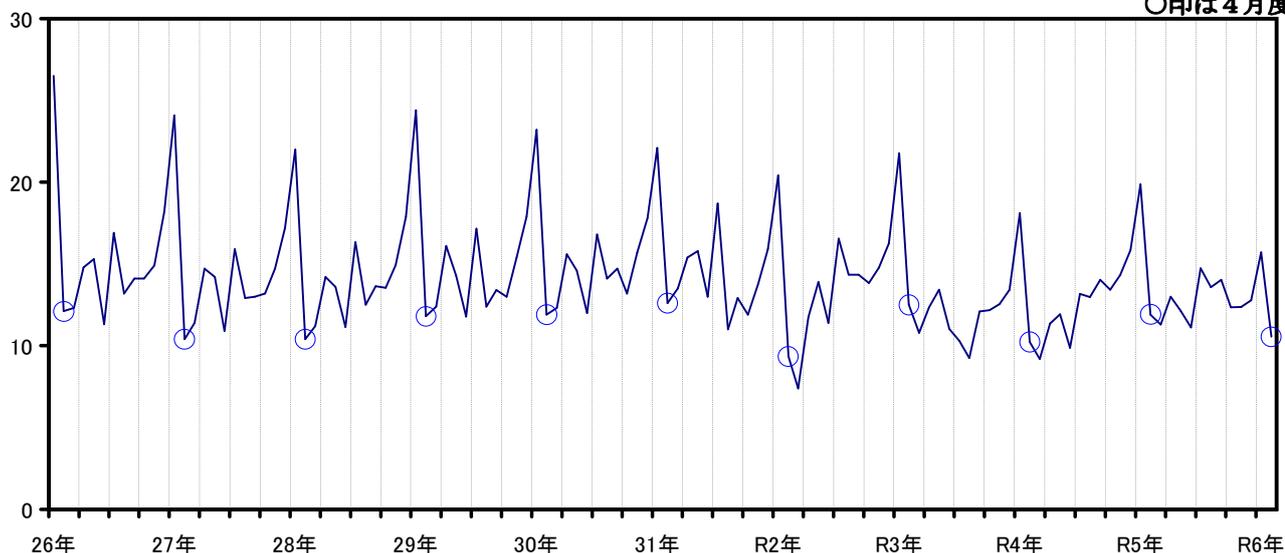
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は4月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

4月 = 1,750 戸

*前年同月比： 2.2%増

<概況>

4月の新設住宅着工戸数は1,750戸で、前年同月比 2.2%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 0.4%減）が3か月連続、分譲住宅（同 44.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同 64.1%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
戸数（戸）	1,575	1,412	1,452	1,512	1,316	1,552	1,598	1,750
前年同月比（%）	0.6	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 9.9	▲ 15.3	2.8	▲ 3.5	2.2
うち持家（%）	▲ 1.8	▲ 17.6	▲ 14.0	▲ 18.7	2.2	▲ 7.9	▲ 19.5	▲ 0.4
貸家（%）	24.7	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.9	▲ 12.1	41.0	15.6	64.1
分譲住宅（%）	▲ 28.4	21.7	▲ 18.5	32.9	▲ 47.2	17.3	▲ 7.8	▲ 44.5
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.5	▲ 4.0	▲ 7.5	▲ 8.2	▲ 12.8	13.9

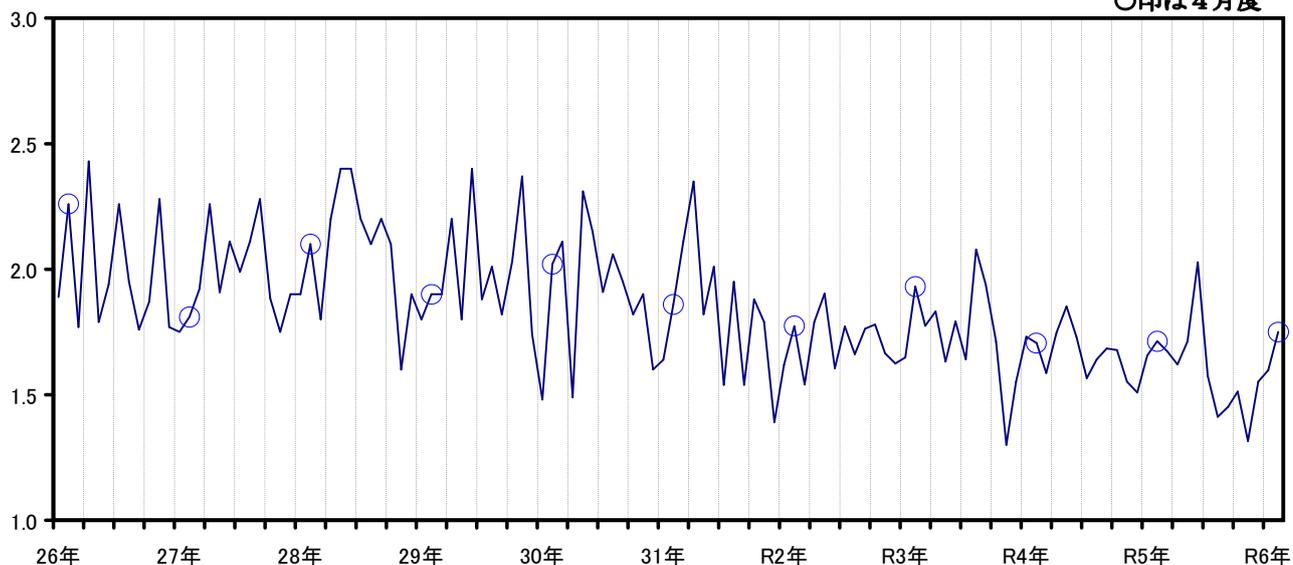
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は4月度



3 公共工事請負金額

4 月 = 52,491百万円

*前年同月比： 3.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

4月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は52,491百万円で、前年同月比 3.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は551件で、前年同月比 10.2%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
金額（百万円）	33,777	20,383	18,433	15,407	17,962	14,224	23,122	52,491
前年同月比（%）	▲ 6.5	▲ 18.0	43.3	21.5	65.5	▲ 26.1	▲ 23.0	▲ 3.7
年度累計前年同月比（%）	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 0.4	0.6	3.1	1.2	▲ 1.0	▲ 3.7
件数（件）	928	724	616	456	277	192	405	551
前年同月比（%）	▲ 11.1	3.0	18.9	8.3	▲ 8.0	▲ 39.2	▲ 35.4	10.2
年度累計前年同月比（%）	0.2	0.6	2.3	2.7	2.2	0.2	▲ 2.9	10.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
国	11.8	▲ 56.5	▲ 5.3	▲ 76.2	52.2	65.8	7.6	▲ 39.9
独立行政法人等	161.4	▲ 99.0	▲ 16.4	▲ 86.2	1,328.9	-	▲ 87.3	▲ 78.3
県	▲ 20.5	6.4	37.6	53.2	▲ 21.5	▲ 24.0	▲ 36.6	50.0
市町	0.4	6.0	27.8	82.2	187.5	▲ 59.7	▲ 21.8	23.3
地方公社	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	16.9	-	2,344.2	277.6	▲ 48.2	▲ 24.2	17.5	▲ 38.0

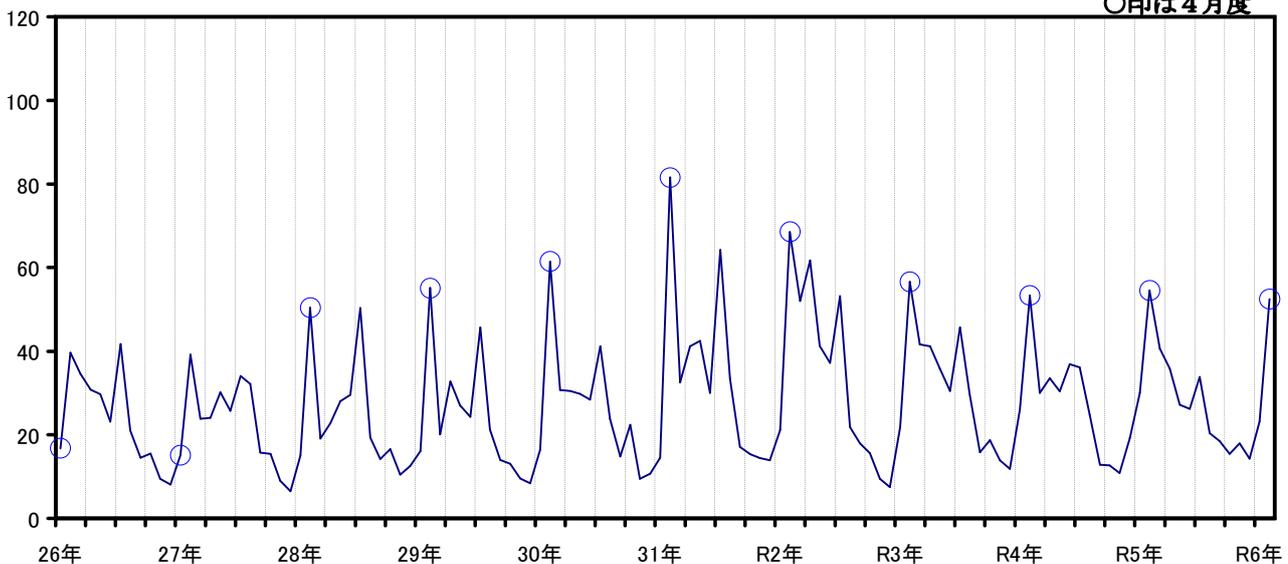
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は4月度



4 設備投資

<概況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.1%増）で増加、非製造業（同 4.9%減）で減少し、全産業（同 9.8%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.7%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）で減少し、全産業（同 6.0%増）では増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は92,388㎡で、前年同月比 18.4%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲5.1) 10.1	9.8
	全国	(▲1.0) 10.7	3.3
製造業	県	(▲10.9) 12.8	22.1
	全国	(▲3.3) 9.4	8.2
非製造業	県	(2.9) 7.0	▲4.9
	全国	(0.4) 11.6	0.5

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲1.6) 11.5	6.0
	全国	(▲1.9) 10.2	4.5
製造業	県	(▲2.5) 13.3	8.7
	全国	(▲1.9) 8.6	5.1
非製造業	県	(1.7) 5.9	▲3.2
	全国	(▲1.8) 11.9	3.9

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年3月調査)」

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	52,555	108,519	255,946	103,727	85,946	263,055	68,223	92,388
前年同月比（%）	▲33.3	▲37.1	76.8	▲37.6	▲27.8	302.5	▲36.4	18.4
（参考）全国前年同月比（%）	0.8	28.4	▲9.8	1.0	▲16.1	▲13.0	15.7	▲15.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年12月	R6年3月	R6年6月 (予測)
全産業		12	7	6
	製造業	9	▲1	▲1
	非製造業	15	14	14
（参考）全国・全産業		13	12	9

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年3月調査)」

5 輸出

4 月 = 225,672百万円

*前年同月比： 0.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は225,672百万円で、前年同月比 0.4%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 37.0%減）が7か月連続、エアコン（同 59.9%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 46.8%増）、二輪自動車類（同 6.9%増）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 18.8%増）が10か月連続、科学光学機器（同 23.3%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 16.9%増）が3か月ぶり、EU向け（同 2.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 13.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	230,788	250,121	238,157	235,745	188,141	226,334	225,732	225,672
前年同月比(%)	7.5	0.6	▲2.7	▲5.0	5.0	7.6	▲4.1	0.4
(参考)全国前年同月比(%)	4.3	1.6	▲0.2	9.8	11.9	7.8	7.3	8.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
原動機	21.2	▲11.8	▲0.3	▲25.1	▲19.3	▲16.8	▲10.6	▲37.0
エアコン	▲36.6	▲43.7	▲51.1	▲73.2	▲74.3	▲74.0	▲73.9	▲59.9
自動車	65.9	133.3	76.0	36.6	45.7	103.4	▲24.4	46.8
自動車の部分品	49.0	39.2	29.2	37.4	16.4	41.9	12.0	18.8
二輪自動車類	▲3.8	15.0	20.9	11.1	10.3	29.5	▲10.7	6.9
科学光学機器	▲15.1	▲1.9	▲8.6	▲12.3	4.2	15.0	8.8	23.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
アジア	▲9.0	▲10.1	▲6.1	▲3.1	12.0	▲0.8	5.5	13.0
米国	11.2	▲5.2	▲6.1	▲8.5	▲12.7	0.4	5.6	▲16.9
EU	22.7	25.7	6.4	▲6.1	8.6	25.7	▲27.0	▲2.8

<資料>清水税関支署

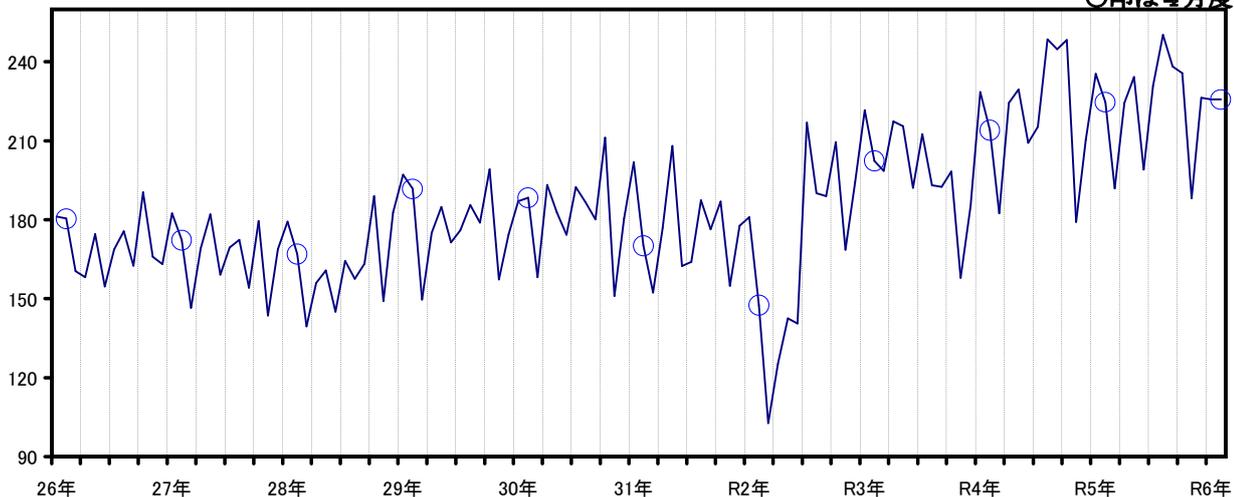
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は4月度



6 輸入

4 月 = 121,272百万円

*前年同月比： 1.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は121,272百万円で、前年同月比 1.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 20.3%増）が2か月ぶり、紙類及び同製品（同 60.1%増）が3か月ぶり、原動機（同 42.9%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 66.8%増）が13か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 47.8%減）、木材（同 17.4%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 17.9%増）が2か月ぶり、米国から（同 11.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、EUから（同 43.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	114,062	117,020	122,779	113,523	148,198	110,710	102,886	121,272
前年同月比(%)	▲14.2	▲18.1	▲12.3	▲23.4	8.6	▲16.8	▲22.8	▲1.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲16.3	▲12.5	▲11.9	▲6.8	▲9.6	0.5	▲4.9	8.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	▲4.8	▲29.4	▲38.6	▲25.3	▲11.1	10.5	▲6.6	▲47.8
木材	▲33.4	▲36.6	▲26.3	2.5	▲37.0	45.0	▲8.2	▲17.4
パルプ	1.3	▲48.9	▲19.8	▲57.3	▲50.9	8.1	▲18.2	20.3
紙類及び同製品	35.2	▲11.1	16.1	▲28.3	33.6	▲18.8	▲12.4	60.1
原動機	23.4	▲13.9	▲11.0	29.8	36.2	64.3	20.7	42.9
自動車の部分品	28.1	17.4	28.8	40.1	39.0	39.9	31.9	66.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
アジア	▲24.0	▲14.3	▲8.0	▲2.5	▲12.5	4.6	▲27.1	17.9
米国	▲30.6	34.3	2.2	▲71.4	353.9	▲72.3	15.1	11.3
EU	▲12.0	8.2	▲20.5	▲44.7	▲42.9	15.6	24.5	▲43.5

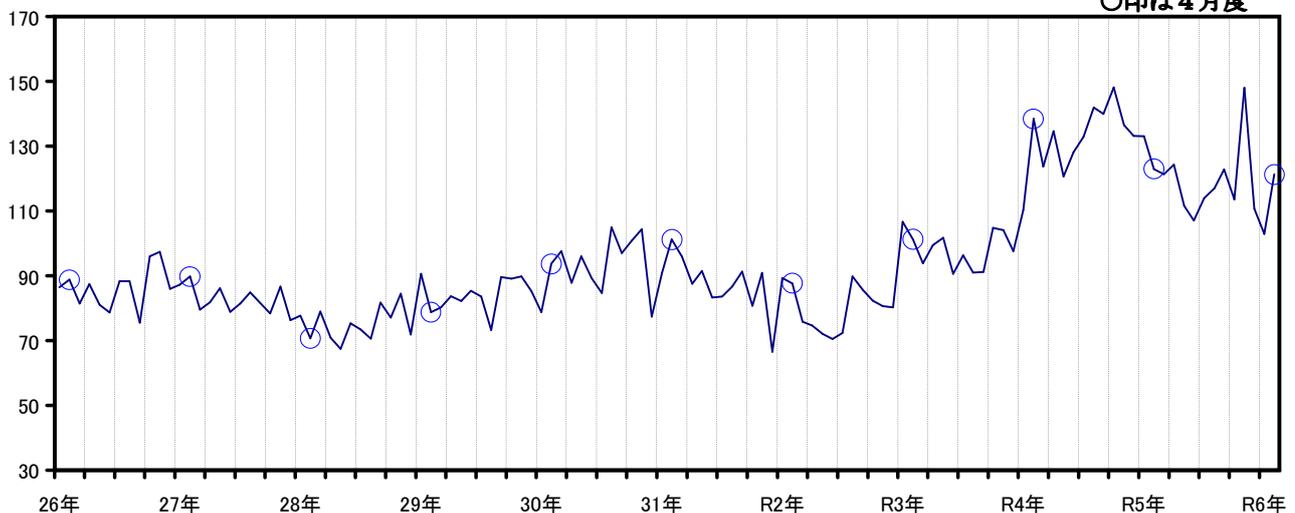
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は4月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

4月 = 96.3

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%増

*前年同月比(原指数) : 1.4%減

<概況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は96.3(季節調整済指数)で、前月比は3.0%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は1.4%減と、2か月連続で前年水準を下回った。
業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比2.0%増)、輸送機械(同6.6%増)、化学(同8.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.2%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同14.1%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同4.4%減)が11か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
指数	96.4	103.5	101.2	99.5	91.5	98.2	93.5	96.3
前月比(%)	▲0.6	7.4	▲2.2	▲1.7	▲8.0	7.3	▲4.8	3.0
前年同月比(%)	▲8.8	0.5	▲1.2	▲6.5	▲3.1	3.3	▲8.6	▲1.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.4	1.1	▲1.4	▲1.0	▲1.5	▲3.9	▲6.2	▲1.8

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.1	0.2	▲7.5	▲5.6	1.5	24.9	▲13.5	2.0
電気機械工業	▲25.4	▲1.0	1.5	▲4.2	▲6.6	▲8.3	▲23.3	▲14.1
輸送機械工業	2.4	10.9	4.0	4.7	▲2.0	9.5	▲4.3	6.6
化学工業	▲18.5	▲6.6	▲10.1	▲30.4	2.3	7.5	▲4.1	8.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.1	▲5.0	▲1.0	▲1.0	0.8	1.6	▲3.7	0.2
食料品・たばこ工業	▲4.9	▲0.3	▲1.4	▲4.2	▲7.6	▲1.8	▲5.8	▲4.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

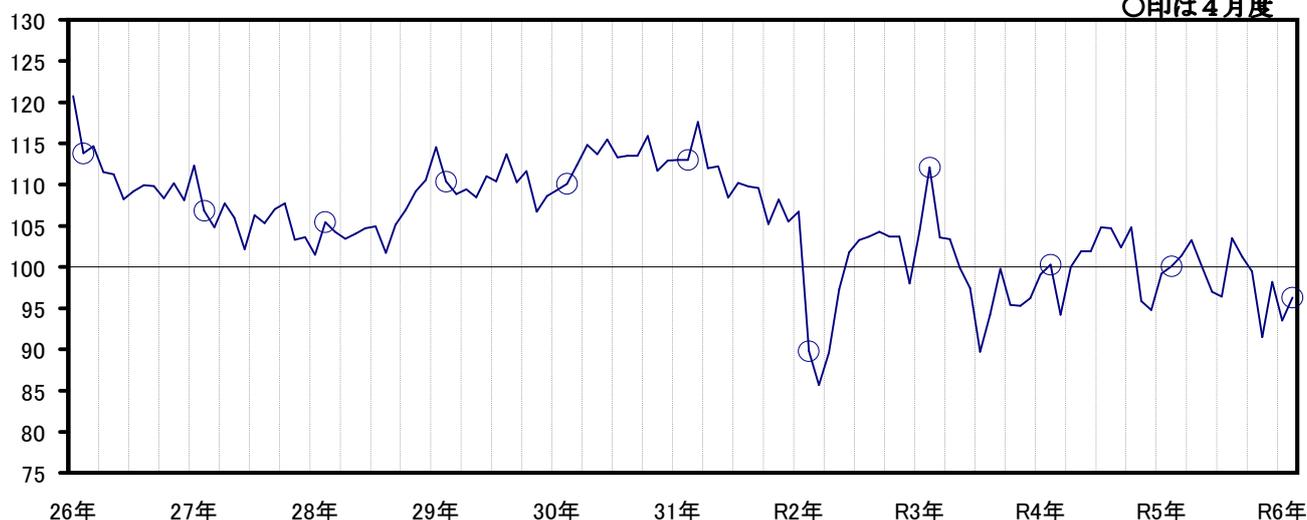
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は4月度



(2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 106.2

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.3%増

*前年同月比(原指数) : 0.5%増

<概況>

4月の鋳工業在庫指数(総合)は106.2(季節調整済指数)で、前月比は0.3%増と、3か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は0.5%増と、3か月連続で前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、電気機械(前年同月比7.7%減)、化学(同1.9%減)がいずれも8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.8%減)が6か月ぶり、食料品・たばこ(同1.0%減)が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.5%増)が5か月連続、輸送機械(同2.4%増)が10か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
指数	104.2	104.0	105.5	105.1	101.9	103.9	105.9	106.2
前月比(%)	▲1.1	▲0.2	1.4	▲0.4	▲3.0	2.0	1.9	0.3
前年同月比(%)	1.2	▲0.4	▲2.3	0.2	▲1.4	1.0	0.6	0.5
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	1.0	1.0	▲0.2	▲1.8	▲1.7	▲1.0	▲2.4

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	12.6	16.0	▲7.9	15.3	7.7	31.2	8.4	3.5
電気機械工業	▲6.6	▲10.4	▲5.8	▲5.4	▲4.0	▲0.4	▲4.3	▲7.7
輸送機械工業	▲4.1	▲12.5	▲9.4	▲8.3	▲7.4	▲20.0	▲8.7	2.4
化学工業	▲1.7	▲7.4	▲6.8	▲10.3	▲13.2	▲3.7	▲0.6	▲1.9
パルプ・紙・紙加工品工業	1.0	▲0.2	2.7	2.3	2.2	1.1	2.3	▲1.8
食料品・たばこ工業	0.9	6.4	5.9	3.6	3.4	▲0.8	1.8	▲1.0

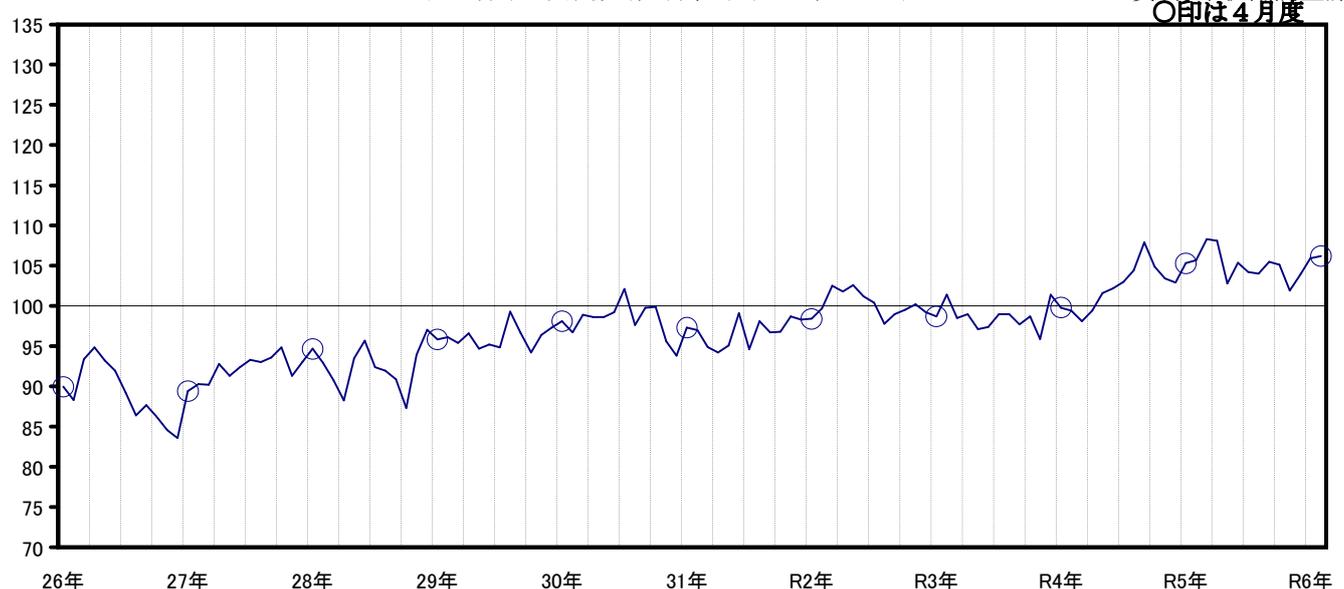
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.15倍

*前月比 (季節調整値) : 0.03ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

4月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.15倍となり、前月を0.03ポイント下回った。39か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.11ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比5.7%減)は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比24.7%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同2.6%減)が2か月連続、製造業(同11.3%減)が18か月連続、運輸業・郵便業(同16.7%減)が3か月ぶり、卸売業・小売業(同10.3%減)が2か月連続、医療・福祉(同7.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同9.3%減)がいずれも4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
県	1.19	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.18	1.15
全 国	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28	1.26

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
建 設 業	2.8	▲16.5	▲1.0	14.9	2.5	7.5	▲2.5	▲2.6
製 造 業	▲12.4	▲14.7	▲10.5	▲9.6	▲7.6	▲9.5	▲6.2	▲11.3
情 報 通 信 業	▲13.8	23.3	3.5	43.0	26.8	8.0	40.7	24.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲2.5	1.0	▲2.2	24.0	▲13.9	10.6	14.2	▲16.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲13.6	67.3	▲2.1	▲35.0	96.2	1.8	▲51.3	▲10.3
医 療 ・ 福 祉	▲10.5	▲4.6	2.9	0.8	▲8.0	▲3.0	▲1.8	▲7.7
サービス業(他に分類されないもの)	4.1	▲12.6	▲4.2	8.7	▲12.7	▲2.9	▲5.8	▲9.3
合 計	▲7.9	▲0.1	▲4.5	▲1.2	3.9	▲0.2	▲8.3	▲5.7

(注)学卒、パートタイムを除く

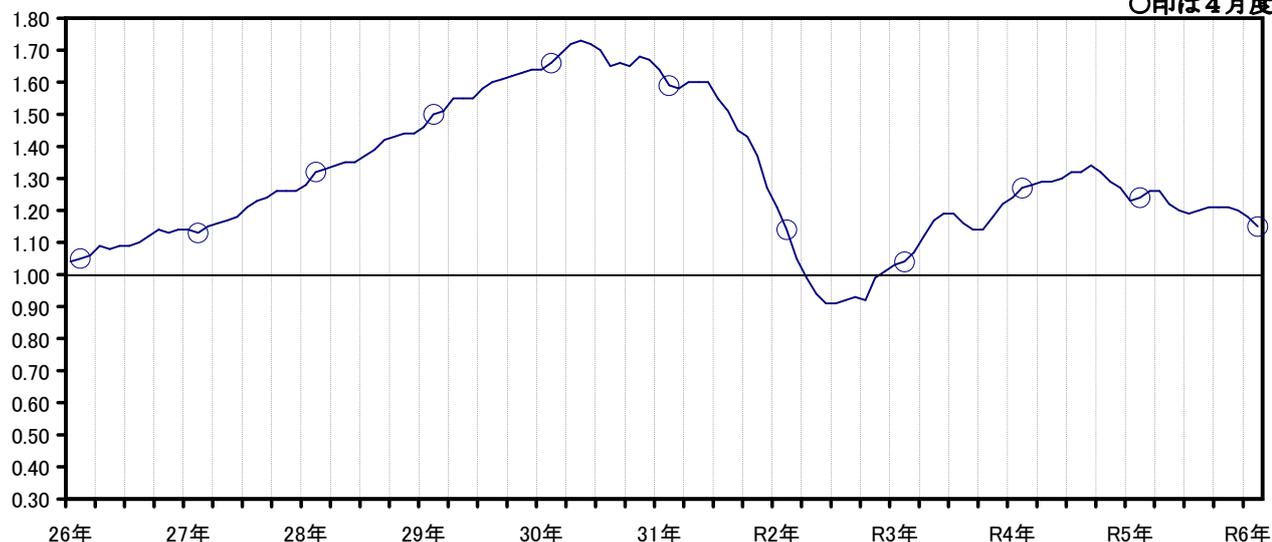
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は4月度



(2) 雇用保険受給者実人員

4月 = 11,190人

*前月比: 5.6%増

*前年同月比: 11.5%増

<概況>

4月の雇用保険受給者実人員は11,190人で、前月比は5.6%増と、6か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は11.5%増と13か月連続で前年実績を上回った。
 完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準であった。
 静岡県(令和6年1~3月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和5年10~12月)から0.2ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
実人員(人)	12,705	12,813	12,014	11,597	11,466	11,160	10,594	11,190
前月比(%)	▲4.7	0.9	▲6.2	▲3.5	▲1.1	▲2.7	▲5.1	5.6
前年同月比(%)	6.0	13.8	11.0	9.9	8.9	9.6	2.8	11.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	7.9	6.0	4.5	5.6	5.7	0.6	6.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6	2.6

(注)季節調整値

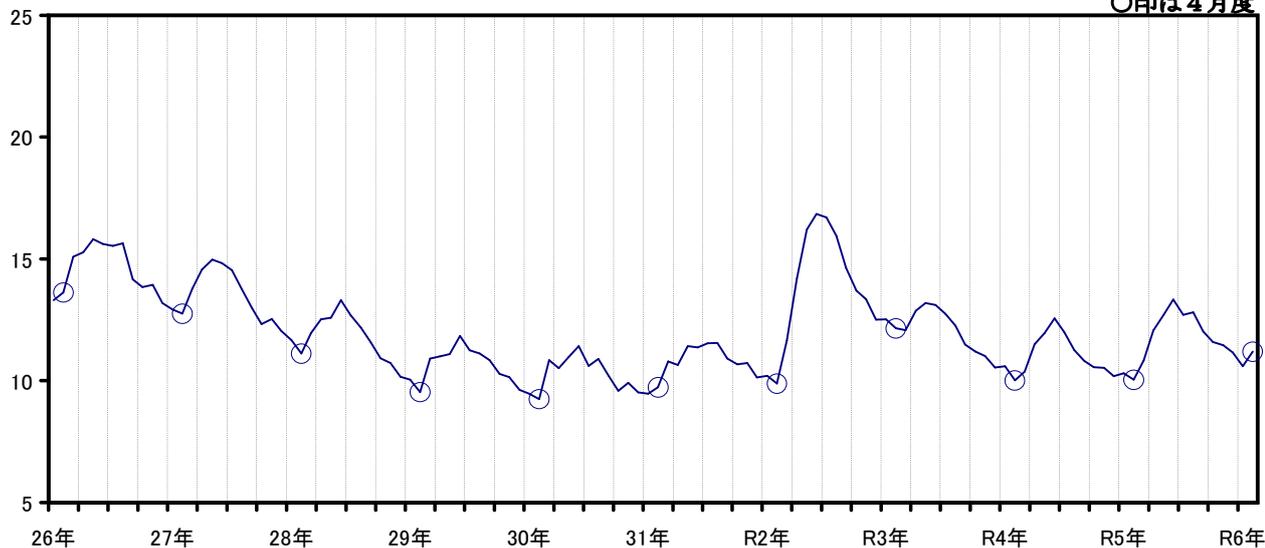
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は4月度



(3) 所定外労働時間指数

3月 = 116.2

*前月比(季節調整済指数): 1.1%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.6%増

<概況>

3の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.2(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.6%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比12.7%減)が3か月ぶり、製造業(同4.8%減)が2か月ぶり、情報通信業(同37.2%減)、医療・福祉(同1.4%減)がいずれも5か月連続、運輸業・郵便業(同16.4%減)が3か月連続、卸売業・小売業(同3.0%減)が15か月連続で前年実績を下回ったものの、その他のサービス業(同24.8%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
指数	116.6	124.7	125.6	120.8	119.1	126.5	117.5	116.2
前月比(%)	▲2.5	6.9	0.7	▲3.8	▲1.4	6.2	▲7.1	▲1.1
前年同月比(%)	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5	1.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲1.7	▲0.9	▲2.4	▲4.0	▲4.2	▲2.5	▲1.6

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
建設業	▲14.6	19.9	▲17.6	17.2	▲22.7	0.0	2.6	▲12.7
製造業	2.2	0.7	1.9	3.2	2.6	▲0.7	0.0	▲4.8
情報通信業	17.5	10.4	10.4	▲4.2	▲11.7	▲30.9	▲44.9	▲37.2
運輸業・郵便業	7.4	2.3	8.0	11.4	11.6	▲15.8	▲18.0	▲16.4
卸売業・小売業	▲32.6	▲23.2	▲22.1	▲13.0	▲6.8	▲3.9	▲6.0	▲3.0
医療・福祉	1.4	8.1	4.2	▲11.2	▲20.5	▲27.2	▲18.8	▲1.4
その他のサービス業	▲7.7	▲12.7	▲17.4	▲24.2	▲22.2	35.4	15.3	24.8
調査産業計	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5	1.6

*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

5 月 = 122.2

(令和2年=100)

*前月比: 0.7%上昇

*前年同月比: 2.4%上昇

<概況>

5月の国内企業物価指数は122.2となり、前月比は0.7%の上昇となった。また、前年同月比は2.4%の上昇となった。

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	119.5	119.8	120.2	120.2	120.4	120.8	121.4	122.2
前月比 (%)	▲ 0.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.3	0.5	0.7
前年同月比 (%)	1.1	0.5	0.3	0.3	0.7	0.9	1.1	2.4

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

4 月 = 142,010億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 1.2%減

*前年同月比: 1.1%減

<概況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,010億円で、前月比とは1.2%の減少となった。また、前年同月比は1.1%の減少となった。

	R 5年9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	142,841	142,035	142,268	143,418	142,309	142,386	143,735	142,010
前月比 (%)	0.6	▲ 0.6	0.2	0.8	▲ 0.8	0.1	0.9	▲ 1.2
前年同月比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.1

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

4 月 = 1.262%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.006ポイント増

*前年同月差: 0.029ポイント減

<概況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.262%で、前月から0.006ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.029ポイントのマイナスとなった。

	R 5年9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利 (%)	1.266	1.265	1.260	1.254	1.254	1.253	1.256	1.262
前月差(ポイント)	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.006	0.000	▲ 0.001	0.003	0.006
前年同月差(ポイント)	▲ 0.053	▲ 0.051	▲ 0.048	▲ 0.049	▲ 0.044	▲ 0.043	▲ 0.036	▲ 0.029

(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

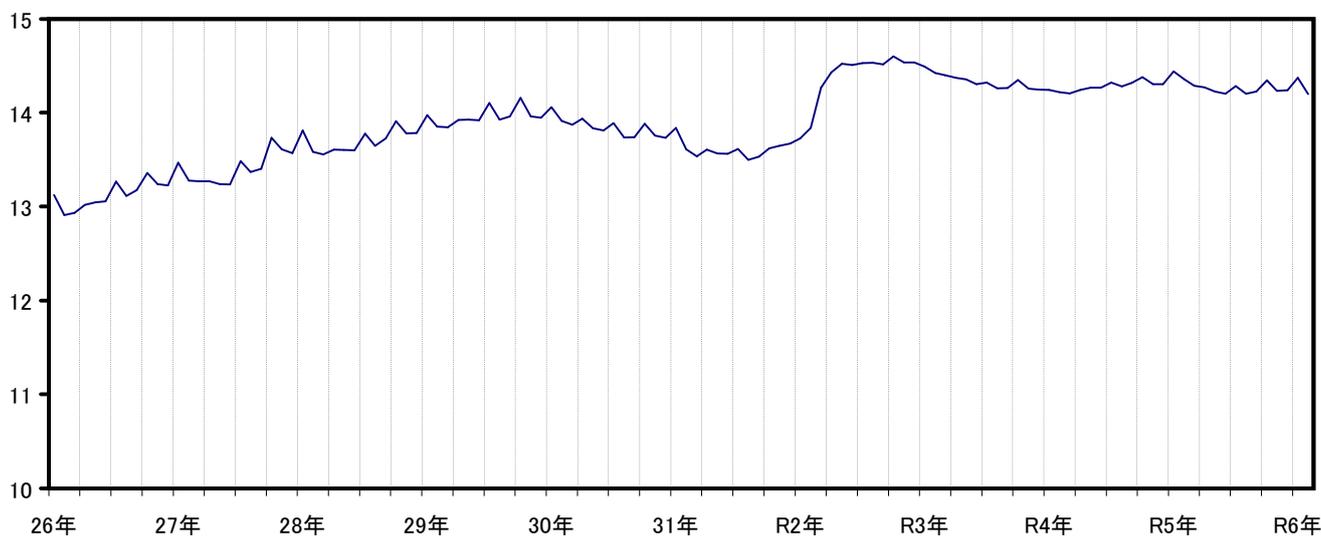
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



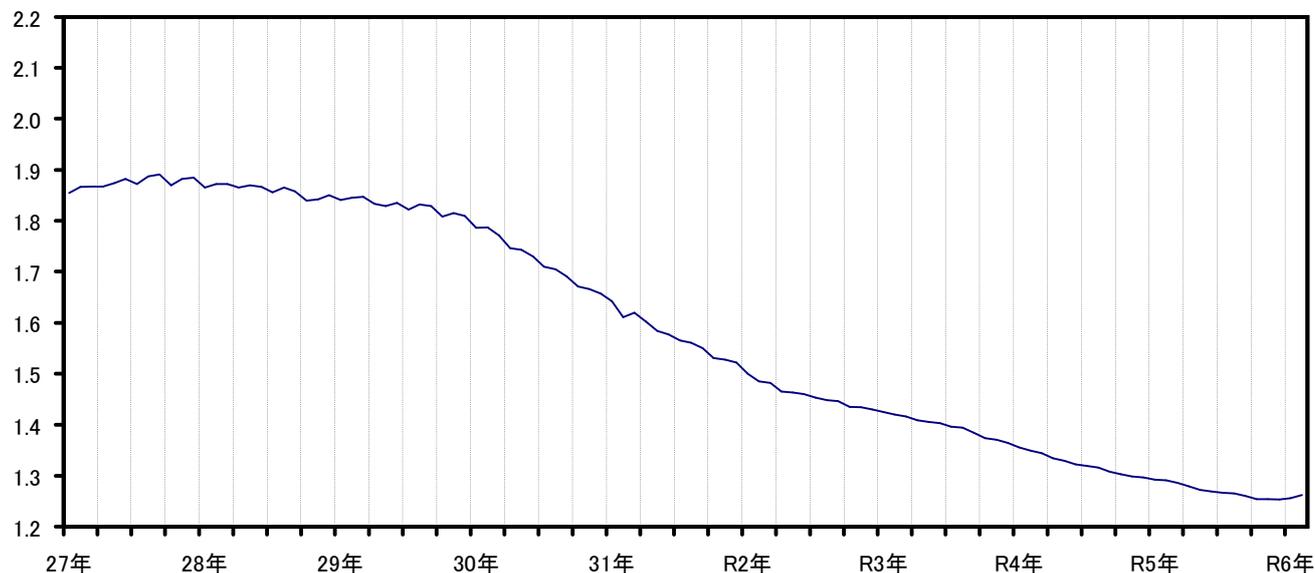
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**4 月 = 16,255百万円**

*前年同月比： 5.6%増

<概況>

4月の保証承諾は、金額は16,255百万円（前年同月比 5.6%増）、件数は1,369件（同 5.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 5年9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	23,777	22,088	25,577	31,745	21,251	24,291	39,164	16,255
前年同月比（%）	▲ 11.1	24.0	6.9	▲ 1.6	20.1	10.8	8.9	5.6
保証件数（件）	1,860	1,670	1,763	2,240	1,535	1,794	2,561	1,369
前年同月比（%）	▲ 13.2	10.6	▲ 3.7	▲ 3.8	10.2	6.7	4.2	5.1

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**5 月 = 156.13円/ドル**

*前月差： 2.70円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 18.76円安

<概況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は156.13円で、前月と比べて2.70円の円安となり、5か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	149.53	149.83	144.07	146.57	149.42	149.63	153.43	156.13
前月差（円）	1.86	0.30	▲ 5.76	2.50	2.85	0.21	3.80	2.70
前年同月差（円）	2.52	7.39	9.14	16.37	16.74	15.78	20.10	18.76

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****5 月 = 22件**

*前年同月比： 29.4%増

<概況>

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は22件（前年同月比 29.4%増）、負債総額は10,415百万円（同 200.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が19件と全体の86.4%を占め、22か月連続で50%以上となっている。

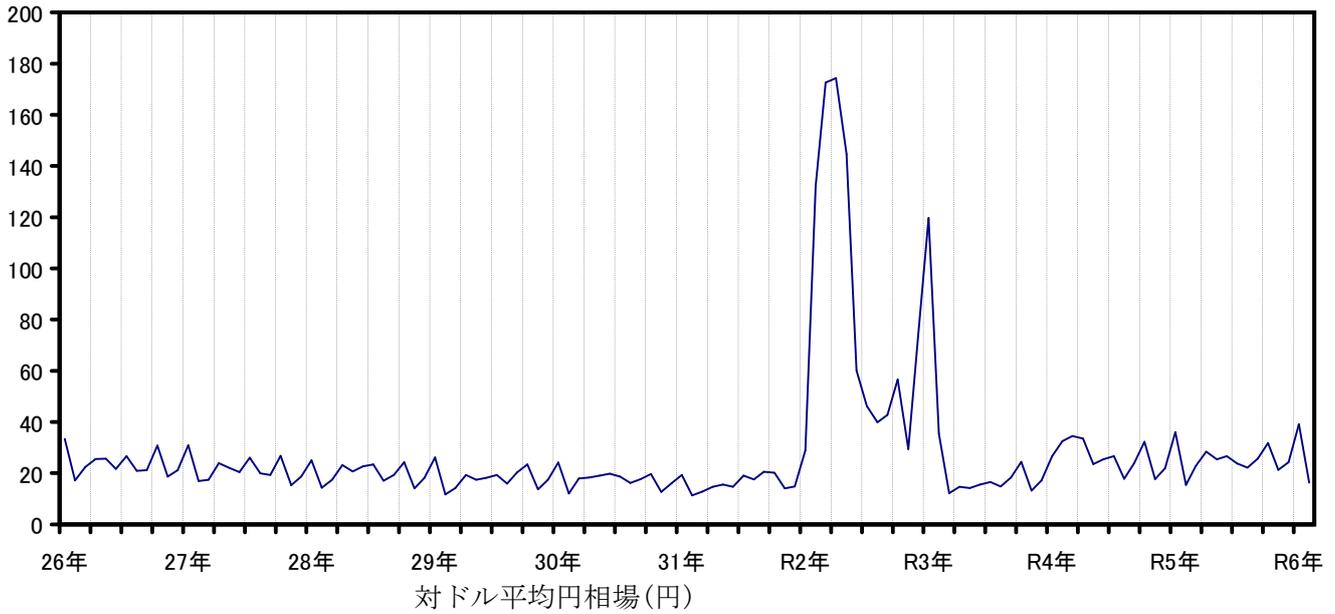
	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	17	19	19	15	9	18	22	22
前年同月比（%）	▲ 22.7	35.7	5.5	▲ 21.0	▲ 52.6	▲ 40.0	100.0	29.4
うち不況型倒産件数(件)	13	17	14	10	8	15	19	19
負債総額（百万円）	6,592	2,885	2,062	1,219	990	4,633	2,360	10,415
前年同月比（%）	152.2	▲ 79.6	▲ 26.6	▲ 39.5	▲ 26.9	26.2	276.3	200.1

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

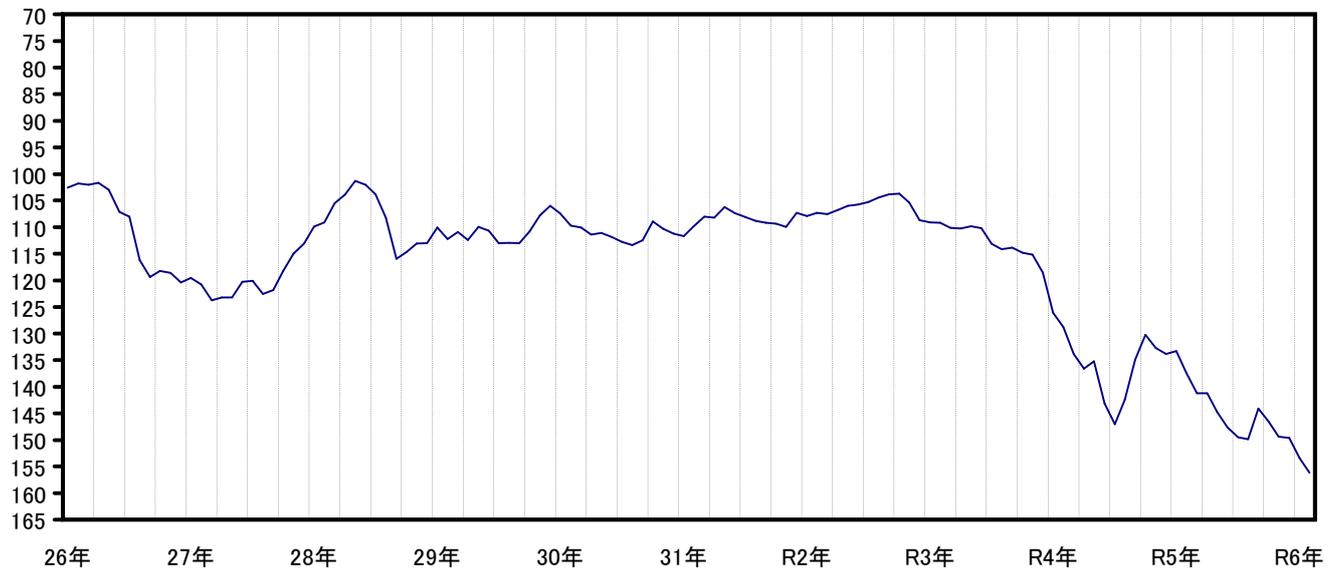
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

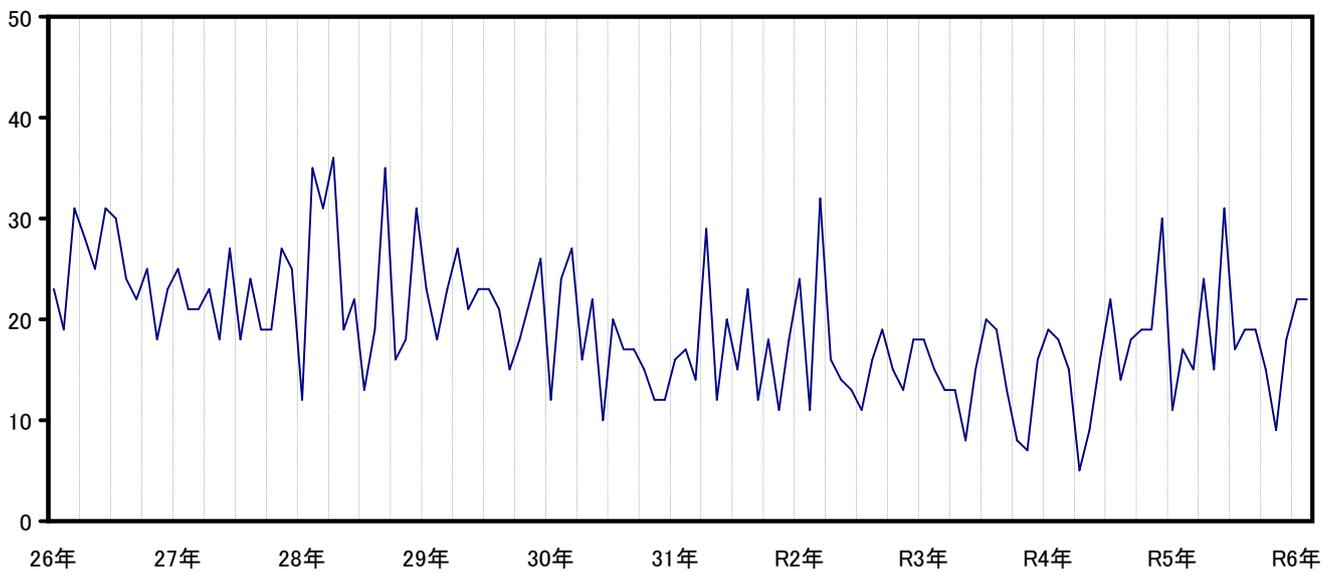


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和6年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、55,935台（前年同月比4.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,945台（同10.8%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,382台（同8.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,171台（同21.2%減）で5か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、39,437台（同0.7%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,446台（同17.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、46,920台（同2.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は、710,389台（前年同月比 18.0%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出は348,539台（同 9.4%減）と、14か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが10か月連続、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は296億円（前年同月比0.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数も244千台（同 6.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは690千台（同 18.8%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は59千台（同11.2%増）で、2か月ぶり前年実績を上回った。</p> <p>4月の携帯電話の国内出荷台数は、289千台（同 62.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、214千台（同 64.5%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は74.1%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、1,209億200万円（前年同月比 8.9%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は845億3,000万円（同 7.1%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが419億5,500万円（同 2.0%増）で、16か月ぶりに前年実績を上回った。内需は363億7,200万円（同12.8%減）で、20か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「先行きが不透明のため不安を感じている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

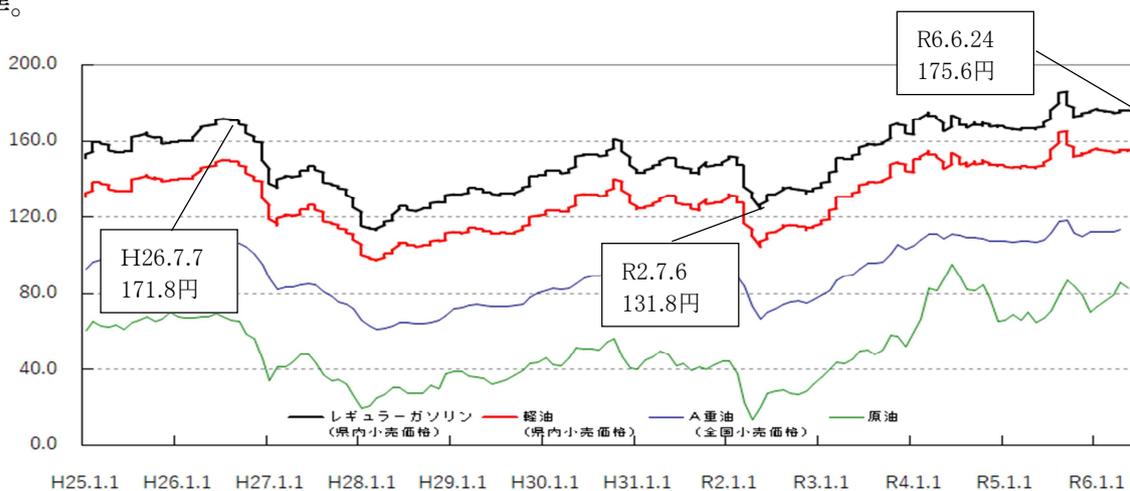
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億9,436万円（前年同月比5.4%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが33億8,306万円（同2.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが21億1,130万円（同10.1%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,549台（同7.8%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,472台（同16.3%減）、グランドピアノが1,077台（同7.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,575台（同30.1%減）で、10か月連続で前年実績を下回り、国内向けが817台（同26.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、1,724千ト（前年同月比2.8%減）で、20か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は778千ト（同4.9%減）で、20か月連続で前年実績を下回った。板紙は946千ト（同1.0%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、385千ト（同10.3%減）で、20か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレトペーパー等の家庭紙は、169千ト（同9.8%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け932千箱（前年同月比7.5%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は694千箱（同3.4%減）で2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は454千箱（同9.3%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は238千箱（同17.7%減）で7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,743千箱（同14.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、905千㎡（前年同月比33.9%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、859千㎡（同35.2%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、46千㎡（同14.1%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同9.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、41億1,550万円（前年同月比5.4%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、648億6,737万円（同5.6%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、360億1800万円（既存店前年同月比 1.3%減）と前年同月の実績を下回った。品目別に見ると、家庭用品が前年同月の実績を上回ったものの、衣料品、身の回り品及び飲食料品が前年同月の実績を下回った。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。身の回り品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが不調だった一方で、家庭用品の売上げは好調だった。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。例年と比較し気温が高かったことから、季節ものの衣料品や身の回り品の売上げが好調だった。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。物価高騰の影響により販売価格は上昇したものの買い控えは見られず、売上げは好調だった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約63万人で、前年同月比37.2%増となった。</p> <p>主な要因は、浜名湖花博2024の開催により関連施設の入込客数が増えたことなどである。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約66万台となり、前年同月比17.9%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー175.6円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	18,694	27,567	28,264	28,959	24,847	22,101	24,131	24,763	25,168
前年同月比(%)	▲ 30.0	▲ 7.4	▲ 1.6	▲ 3.7	▲ 7.8	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 10.1	9.3
KD輸出額(百万円)	874	1,005	1,319	1,441	1,704	1,413	1,567	1,238	1,152
前年同月比(%)	▲ 3.5	▲ 16.7	▲ 19.2	▲ 11.8	8.4	▲ 5.3	▲ 0.6	▲ 25.5	▲ 34.0

<楽 器>

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,919	3,484	3,614	3,510	3,719	2,913	3,545	3,573	3,468
前年同月比(%)	13.0	7.0	9.4	7.1	14.9	3.0	7.6	1.3	6.1

<缶 詰>

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	954	962	940	1,023	931	855	910	880	932
前年同月比(%)	▲ 12.1	▲ 8.8	▲ 18.6	▲ 10.2	▲ 16.3	▲ 6.4	▲ 0.1	▲ 14.0	▲ 7.5
うち水産缶詰(%)	▲ 18.1	▲ 13.0	▲ 23.3	▲ 13.0	▲ 19.9	▲ 0.8	12.6	▲ 6.3	▲ 3.4
農畜産缶詰(%)	5.0	2.5	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 18.4	▲ 25.2	▲ 30.1	▲ 17.7
飲料缶生産高(千ケース)	7,092	7,151	6,618	7,029	6,359	5,292	6,130	7,231	6,743
前年同月比(%)	▲ 6.0	10.9	▲ 6.8	9.6	▲ 1.8	4.5	0.0	▲ 3.2	▲ 14.0

<織 維>

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	674	801	867	1,049	1,000	983	932	928	905
前年同月比(%)	▲ 0.9	2.0	11.2	16.2	34.0	31.5	34.8	31.2	33.9
小幅織物(千㎡)	15	18	18	18	19	16	16	18	17
前年同月比(%)	12.8	16.1	13.0	8.3	▲ 5.0	1.2	0.7	▲ 1.1	▲ 9.4

<観 光>

	R 5年8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月
延べ宿泊者数 (千人泊)	2,617	1,790	1,742	1,899	1,859	1,659	1,787	2,091	1,720
前年同月比(%)	8.8	17.4	16.7	11.4	9.3	8.8	15.3	2.3	4.4
観光施設(10施設)入込 (千人)	439	376	470	458	334	245	232	361	634
前年同月比(%)	▲ 8.8	24.6	6.4	13.9	5.6	▲ 33.5	▲ 31.4	▲ 29.8	37.2
有料道路(4路線)通行 量(千台)	693	584	604	621	613	564	575	645	661
前年同月比(%)	▲ 1.7	4.0	▲ 1.4	2.0	▲ 1.0	2.9	3.3	0.2	17.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和6年6月号 通巻578号

発行 静岡県経済産業部
令和6年6月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>